

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号
TEL 清水<0543>52-4146(代)

清水港工事事務所開設 70周年記念にあたって

所長 尾崎正明



清水港工事事務所は、大正十年十月一日に内務省横浜土木出張所清水港修築事務所として開設され、今年でちょうど七十周年になります。

近代清水港は明治四十二年二月に内務省第二種重要港湾の指定を受け、静岡県により明治四十一年から大正三年にかけて、清水船溜、江尻船溜、巴川地区に第一期修築工事が行われましたが、直轄工事事務所の設置により、大正十年から昭和十三年にかけ、日の出岸壁、富士見物揚場、内港航路、折戸泊地などの大型施設や三保貝島地区の埋立など第二期修築工事が行われました。昭和十三年に清水港修築事務所は閉鎖されましたが、昭和二十二年に第二次大戦の戦災復旧工事を手はじめに、

運輸省第二港湾建設部清水港工事事務所が設置され、富士見埠頭、江尻埠頭、折戸波除堤、興津埠頭などを整備してきました。

昭和三十九年に第五港湾建設局の設置に伴い、清水港工事事務所は編入されました。

昭和四十年十二月に現在の日の出町の庁舎が落成しています。昭和四十年代（二次五カ年～四次五カ年）には、外港防波堤に着工し、富士見埠頭、興津第二埠頭、袖師第一埠頭を完成し、さらに三保防波堤に着工し、現在の清水港の概成が行われています。昭和四十二年には最新起重機船駿河が就航しさらに昭和四十三年には現在三保にあるケーソンヤードが完成しています。

昭和四十五年には富士見埠頭にコンテナ船第一船が寄港し、昭和四十六年には浜松内陸コンテナ基地を供用するなど、コンテナ化に積極的に対応してきました。

昭和五十年代（五次五カ年～六次五カ年）には防波堤工事を継続する一方日の出埠頭

の改良を行っています。この頃は直営工事はほとんど防波堤工事だけになっており昭和五十七年には、完全に請負工事に移行しました。

昭和六十年代（七次五カ年）には富士見埠頭や江尻埠頭の改良を行ってきており、一段落した状況にあります。平成二年の港湾貨物量は、一九一六万トン（うちコンテナ貨物量は二一〇万トン）に達しています。また、平成二年二月のQ.E.II寄港以来クルーゼング船が次々と日の出埠頭に寄港しています。

これからの清水港の計画としては、大型コンテナ船が寄港できる総合コンテナ埠頭を興津地区に整備することとしており、現在このための地元調整を行っているところです。さらに、長期的には、沖合人工島構想について、漁業者や市民のコンセンサスを得ながら進めていきたいと考えています。

清水港以外の港湾整備については、昭和五十一年度から御前崎港の直轄整備を行っており、昭和五十三年度から御前崎分室（昭和五十四年度から御前崎工場）を設置し、東防波堤及び西防波堤を継続整備しています。さらに昭和五十五年度から下田港の直轄整

備を開始し、昭和五十六年度には下田分室（昭和六十一年度から下田工場）を設置し避難港としての外港防波堤を継続整備しています。

昭和六十三年度からウォーターフロント相談窓口を開設し、御前崎、田子の浦、伊東、熱海、下田をはじめとする県下のプロジェクトの支援を行っています。

このたび、設置七十年の節目を記念して、諸先輩の栄光の歴史を記録にとどめて、今後の業務の参考として活用するために、記念誌の発刊を企画し、とりまとめることとなりました。事務所が火災を受け、たこともあって、古い資料の収集が困難でありましたが、諸先輩からの資料の提供、座談会、寄稿等の多大な御支援のもとにとりまとめ作業が完了しました。みなとまち清水から、国際港湾都市清水へと当地域の発展に貢献されてきた諸先輩の足跡をたどることにより、二一世紀への飛躍の糧の一助ともなれば幸であります。

最後に、今後とも清水港工事事務所発展のため、各位の益々の御支援御鞭撻を賜りますようお願い致します。

10月5日(土)に開設70周年の 記念式典と祝賀会開催

大正十年十月に当事務所が開設されて以来、本年度満七十年を迎えることから、十月五日に港湾会館清水市日の出センター(マリニビル)において、出席者三百名の列席のもとに「清水港工事事務所開設七十周年記念式典」が次のとおり開催する。

一、記念式典に先立ち十時から五建清水会(当事務所に勤務し退職した先輩の方々の親睦団体)の方々五十名の参加のもと大きく発展した清水港の現状と将来の港湾整備の説明を交えながら船中からの港内見学を行う。

二、記念式典は十一時から

開催され、杉森次長の開式の辞に始まり、櫻井局長の挨拶、尾崎所長の経過報告と続き、歴代所長の紹介のあと歴代所長を代表して第七代所長の瀬尾五一氏の挨拶があり、続いて来賓祝辞では、斎藤滋与史静岡県知事、宮城島弘正清水市長、鈴木通弘清水港利用促進協会会長からそれぞれ祝いの言葉を頂いた後、地元選出の国会議員の先生方をはじめ多数の方々からの祝電が披露され、最後に佐々木次長の閉会の辞をもって終了の予定。

三、記念式典終了後の十二時から、五建清水会の主催に

より祝賀会が開催される。祝賀会は、西村俊之五建清水会副会長の開会のことばに始まり、吉村眞事五建清水会会長の挨拶、ついで来賓祝辞として原田昇左右衆議院議員、杉山正躬県議会議員、佐塚重義県議会議員、二宮陸治静岡県建設業協会会長からそれぞれ祝辞があり、つぎに尾崎所長が謝辞を述べる。続いて、櫻井局長、吉村会長、尾崎所長による鏡割りが行われた後、池谷淳下田市長の乾杯の音頭で全員が乾杯をし、懇談後下村源一御前崎町長の音頭で万歳三唱があり、最後に道厘清五建清水会代表幹事の閉会のことばをもって終了の予定。

(山田庶務課長)

開設70周年を迎えた 清水港工事事務所の沿革

- 大正10年(1921) 内務省横浜土木出張所清水港修築事務所として開設。
- 昭和22年(1947) 運輸省第二港湾建設部清水港工事事務所に改称。
- 昭和39年(1964) 運輸省第五港湾建設局清水港工事事務所と改称及び所轄替え。
- 昭和40年(1965) 清水港工事事務所新庁舎完成。
- 昭和53年(1978) 清水港工事事務所御前崎分室開設。
- 昭和54年(1979) 清水港工事事務所御前崎分室を御前崎工場に変更。
- 昭和56年(1981) 清水港工事事務所下田分室を開設。
- 昭和61年(1986) 清水港工事事務所下田分室を下田工場に変更。

記念誌の発行紹介

次長 杉森邦夫

開設七〇年を機に「清水港工事事務所七〇年史」を発行します。昭和五十五年(1980)年記念誌を発行しましたが、その後、御前崎、下田両港においても工場としての組織が確立し、清水港でも再開発や新規事業への取り組みも進んでおり、時代の区切りとして新たに編集しました。

9月20日付人事異動

所長が交替

着任あいさつ

所長 尾崎正明



九月二十日付をもちまして中村前所長の後を受け継ぐこととなりました。前職は関西国際空港(株)工務一部企画課長というところで、この新空港は世界最大の海上空港ですが、その建設の予算、工程計画等の業務を日夜担当しておりまして。静岡県の勤務は初めてですが、清水港、御前崎港、下田港と各々特色のある三港の整備に携わるといふことで、今までの職務とは違い、特に地域に密着した仕事を心掛けたいと考えております。また

七〇年史は単なる工事記録や数表の羅列を避け、清水を初めとする県内の情勢や、プロジェクト・歴史・直轄を主体とする事業についても記述し、先輩たちの築いた道程も記録する様努めました。この十年間は直営の最後の年代でもあり、特集の座談会では、当時現役で活躍されたOBの人たちに経験談も語っていただきました。資料の蒐集・印刷は「港建技術サービス」にお願いしました。

個人的には家内と二人の息子をつれて来ておりますので、家族共々早く地元(清水)に溶け込みたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

転任のあいさつ

前所長 中村 豊



この度九月二十日付をもちまして清水港工事事務所所長を退任し運輸省港湾局へ赴任することになりました。二年二ヵ月余静岡県下の港湾整備、特に清水港、御前崎港、下田港の整備に携わり、皆様方には公私とも大変お世話になりました。今後とも「みなとしみず」を御愛読いただき、清水港工事事務所をかわいがつていただきました。存じます。

パンフレット

『いかざあ清水
フット散歩』の発行

第二工事課長
池谷友文

おそまきながら当清水港工
事事務所においてもパンフレ
ットを発行（十月）する運び
となり、ここにその作成課程
と内容の一部を御紹介しま
す。

清水を案内するパンフレ
ットは観光、港湾、名所、旧跡
等数多くあり、いずれも充実
した内容で紹介されています。
通り一遍では二番煎じもい
いとこ、はたと困りし所長と
相談、はたと思いつき、港を
ぐるりぶらつと散歩、自然と
歴史、生活と文化、物流と生
産等、今昔とりまぜ探索する
企画で、日の出から出発、三
保経由、興津までの八箇所を
構成してみました。ここに表

寄稿

清水港の想い出

元職員

白石 良



清水港工事事務所開設七十
周年を心より御祝い申し上げ
ます。今後ますますの御発展
を祈つてやみません。想い出
を送れとのことで少々閉口し
つつ雑然と書いてみました。
昭和十六年頃の折戸湾の景景
は、竹で組まれたカキ棚がず
らっと浮かび夏には真黒な子
供達が棚で皮ハギなどの釣に



▲パンフレットの表紙と内容の一部

紙と内容の一部（原稿の段階）
を写真にて御紹介致します。

なお、このパンフレットは、
監修並びに企画構成を中村前
所長及び杉森次長のもと次の
編集員（石川カメラマン、都田
・村上両青年、西藤、池谷）
によるメンバーで作成したも
ので、短期間による手づくり
のため、若干みにくいところ
があるかと思いますがご了承
ください。

お手元に届くまで乞う御期
待！



熱中していたものである。現
在の富士見六号・七号岸壁は
大潮のときはその天端を幾分
隠して居り、懐中電灯・タモ
を手に渡り蟹・伊勢えびをと
る人もあった。透明度の良さ
も想像できると思う。海水浴
場は三保は内海のみ、袖師は
多くの人で賑ったものです。

袖師・興津の砂浜上には一と
霞んだ山、その山上にそびえ
る富士山、見あきのない風景
であった。清水も変わったもの
とつくづく思う昨今である。
私ごとで申訳ないが起重機船
・曳船・プリストマン・陸上
機械等の作業に従事した直営
工事・御前岩灯台工事・監技
となつてからの御前崎港防波
堤工事・清水港の各工事等そ
の1つ毎に思い出は尽きぬも
のがあります。苦労話と云う
か懐しい思い出を自分なりに
綴つてみたいと思つています。
四十余年美しい清水港で働き
数知れぬ上司先輩仲間達との
交流、本当に幸せな人生を送
りました。感謝の念も新たに
厚く御礼申し上げます。皆様
の御健康を祈ります。

9.1 防災訓練 行われる

本年は、「防災の日」が日
曜日だったので、本部員及び
担当者（一部一般職員の応援
あり。）の参加によって、実
施された。参加者は日の出町
事務所、三保の工事課、御前
崎工場及び下田工場の十二名
で実施した。

午前七時の「判定会招集」
の一報から開始され、所長等
から連絡を受けた本部員等は
八時三十分までに登庁し、所
長の指示に従った。九時に、
警戒宣言が発令され、防災本
部を所長宿舎（大沢町）に移
すことになり、安全措施をし
たのち、全員が自転車で、防
災用品を荷台に縛り付けて二
七キロの道を、汗を流して移
動した。

十時に災害発生時の想定のも
と、被災状況の調査活動を行
い、その調査結果を、本局及
び関係官署に報告して訓練を
終了した。
いくつかの課題を残して終
つたので、今後検討を重ね、
あつてはならないが、本番に
備えて置きたい。

（石川芳厚係長）



▲防災本部移動訓練

自民党県議会港湾 議員連絡会の一行 が清水港を視察

自由民主党県議会港湾議員
連絡会（会長・佐藤重義県連
幹事長）の一行七名は九月十
七日、清水港を視察しました。
清水港工事事務所所属船「ま
さき」で視察した後、宮城島
市長、県松南局長、五建中村前
所長から清水港の状況の説明
を受けました。

工場だより

御前崎工場

知ってる人は知っている
御前崎のビューポイント

御前崎といえば、白亜の燈台。その燈台と海岸を結んでいる坂道が「燈台遊歩道」で、燈台から少し下ったところにあるのが、その名もズバリ「地球が丸く見えるん台」。水平線が見渡せる御前崎一のビューポイントですが、アベックが多いのが玉にキズです。

燈台の西側、国民宿舎御前崎荘と海岸道路(サンロード)を結ぶのが「潮騒遊歩道」。

下田工場

伊勢海老弁当

伊豆急下田駅の構内に、最近評判の駅弁が出て、話題になっていきます。大きな伊勢海老が一匹まるごと入っており、贅沢なお弁当です。伊豆の下田においでの際は、ご賞味下さい。ちなみに値段は二千円で

(夏田事務係長)

この途中にあるのが、付けも付けたり「夕日と風が見えるん台」。その名のとおり、海の眺めの素晴らしい所です。眼下には波にたわむれるサーファーが。そして青い空、白い雲、砕ける波。ここもアベックが多いのがシヤクにさわります。勝手にしてくれ!

(技官 中津川哲司)



▲「夕日と風が見えるん台」にある潮騒の像

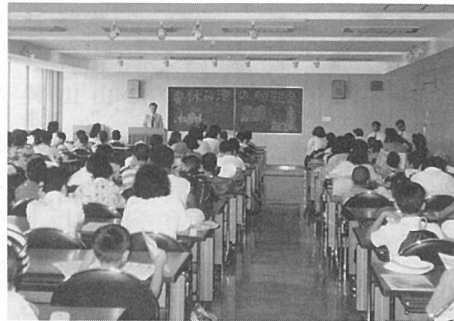
夏休み港の勉強会に参加して

この夏(八月八日)、清水市港湾振興課主催による港の勉強会がマリニビルを主会場に、フェルケール博物館の見学や港内見学等市内の小学生(親子百余名)を対象に行われました。

清水港工事事務所においても何らかのお手伝いをと、当所、杉森次長による港(潮のみち干、岸壁とは、防波堤水面



◀熱心に港の勉強



下の構造、航路とは、海図の役割、水面の基準等)について具体的な説明をすることにも、本省からいただいたパンフレット「海に行きたい」をも謹んで照会をさせて頂きました。

このあと、「はごろも」による港内見学も行われ、清水ウッ子とのふれあいデッキにより港に関する若干の知識が提供できたのではないかと感じております。

(リポーター 池谷第二工事課長)

マレーシアの研修生 五名が来所

九月九日、マレーシア東政策(ルック・イースト)の研修生五名(シヤハルザマン(三〇)・ガザリ(三〇)・ユソフ(三三)・ラニ(三九)・ハミド(三三))が来所しました。

一行は、九日本局の稲田技官の随行と池谷第二工事課長の案内で清水市内の名所旧跡を見学し、夜は当所職員と懇親するなどして交流を深めました。



▲記念撮影(事務所玄関前)



清水港の動き

8月6日 清水港港湾機関長会議(清水)

8月8日 夏休み海の勉強会(清水)

9月1日~2日 防災訓練(清水)

9月3日 清水市議会自民党新人議員港湾視察(清水)

9月4日 3/四実施会議(名古屋)

9月9日 所長会議(名古屋)

9月9日~10日 マレーシア研修生清水港視察(清水)

9月14日 「にっぽん丸」入港(清水)

9月17日 県議会自民党港湾議員連絡会清水港視察(清水)

9月17日~20日 平成3年度第

9月18日

10月5日

10月25日

10月25日

10月25日

11月26日~27日

11月28日~29日

11月28日~29日

11月28日~29日

1 回通常検査(清水・御前崎)

清水港・みなど色彩計画策定委員会(清水)

清水港工事事務所開設七十周年記念式行事(清水)

東海地区港湾整備促進大会(名古屋)

御前崎港開港20周年記念式典(御前崎)

管内主管部長会議(愛知県)

管内直轄港湾工事報告会(名古屋)

管内直轄港湾工事報告会(名古屋)

管内直轄港湾工事報告会(名古屋)

管内直轄港湾工事報告会(名古屋)